

家庭を愛し、青少年を健やかに育てましょう



知事と懇談

——移動県民学校——



6月30日に、昭和58年度移動県民学校が開催され、庭田婦人学級生20名が参加しました。

これは、県民がいろいろな施設を見学し学習することによって、県政に対する理解を深めるとともに、県民の意見、要望をできる限り広く反映することを目的として県が毎年実施しているものです。

当日は、知事と懇談を行ったほか、精神薄弱者施設「向陽の里」健康増進センター、県庁、消費生活センターを見学しました。

昭和58年 8月号 第384号

発行/東郷町役場・編集/企画財政課

鮎焼きて母はおはしき夢見ての

のちもうしろでありありと見ゆ

牧水

東郷幼稚園を改築

＝昭和58年度補正予算確定＝

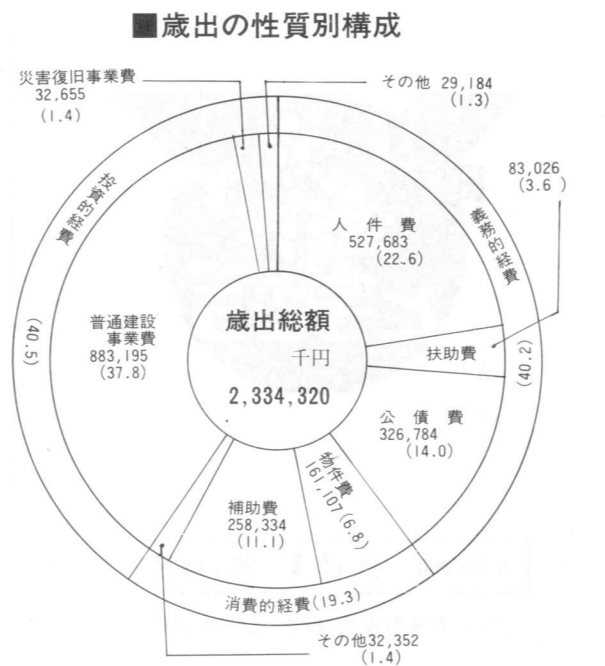
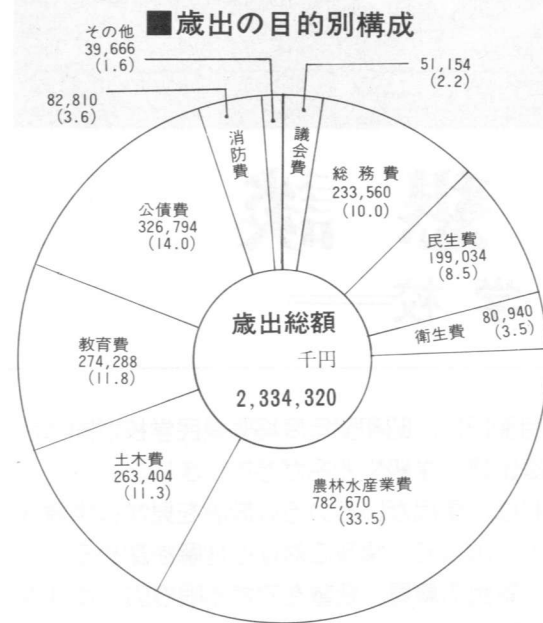
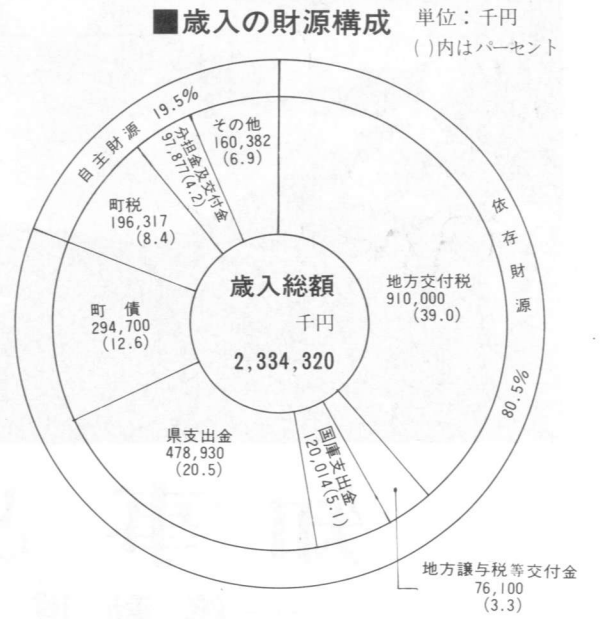
昭和五十八年度は統一地方選挙の年であったため、一般会計予算は当初骨格予算としてスタートしました。

六月定例議会において事業に関する予算、八億三千五百三十二万円が追加補正され、一般会計予算の総額は二十三億三千四百三十二万円となりました。

補正された予算の主なものは、農村総合整備モデル事業、農業構造改善事業、農道整備事業、林業

構造改善事業等の農林水産業費が五億二千九百九十三万二千円、町道（橋りょうを含む）の改良補装並びに牧水公園の整備事業等の土木費が二億一千九百九十三万三千円、東郷幼稚園の改築を主とする教育費六千三百七十七万七千円、消防施設の整備のための消防費が二千四百七十九万九千円、その他、民生費、議会費、総務費、災害復旧費等は一千三百五十三万八千円となっております。

円グラフは、歳入の財源構成及び歳出の目的別、性質別構成を示したものです。



■昭和58年度 特別会計予算

(6月補正後)

国民健康保険事業特別会計	329,114千円
老人保健事業特別会計予算	246,600千円
簡易水道事業特別会計	17,610千円
国民健康保険病院事業会計	238,428千円

青少年の豊かな心を育てよう

昭和五十八年度東郷町青少年健全育成会議

活動方針

広く町民の意識を結集し、次代を担う青少年の健全育成を旨として昭和五十六年に結成された町民会議は、不良雑誌自動販売機追放等の社会環境浄化をはじめ、高校生、各種学校生父母の会の結成をみる等確実な成果をあげています。

五十八年度も、去る七月十二日に開催され、新役員として会長に町長を、副会長に教育長と町子ども育成連絡協議会会長を選任し、向こう一年間の活動について協議しました。

心身共に健全な青少年の成長を旨とするための諸活動を推進する。

第四に、昨年の不良雑誌自動販売機追放に引き続き社会環境の浄化に努力する。

以上四点を基本方針として諸事業を実施することになりました。

青少年を非行から守る手だては全町民の意識の高まりが最も重要なことからご協力をお願いします。(教育委員会)

第一に、家庭は生活の基礎的習慣、価値観等人格形成の基本を育てる教育の場として最も大切であるという認識のもと、親子の相互信頼と対話を高め心のふれあう家庭作りを旨として第三日曜日「家庭の日」の普及を図り家族で有意義な一日を過ごす運動を推進する。

第二に、青少年の役割と責任の自覚を持たせるため子ども会等団体への参加を促すと共に、奉仕活動、文化活動等社会参加を促進する。

第三に、スポーツ少年団等に参加し、強い身体と精神力を養い、



みんなで実践 「新生活運動」

東郷町生活改善推進協議会では「豊かな人間性」を旨として、思いやりの心、助けあいの心、儉約節約の心等の回復を図る新生活運動の活動方策として次の事項を推進します。

一、あいさつ運動

(1)愛情と秩序ある明るい家庭をつくるため家族どうしのあいさつをします。(おはよう・おやすみ・行って来ます)
(2)感謝の心を養います。(ありがたう・いただきます・ごちそうさま)
(3)素直な心を養います。(ごめんない・すみません・はい)
(4)正しい言葉を使います。

二、自然の保護と清潔な町づくり

(1)四季の花を植えます。
(2)空か公害をなくします。
(3)河川を汚さないようにします。
(4)野山の自然花木を保護します。

三、交通ルールを守ります

(1)飲酒運転を撲滅します。
(2)法定速度で走ります。
(3)シートベルトを着用します。
(4)自転車も歩行者も交通ルールを守ります。

四、青少年の健全育成運動

(1)あの子にも、この子にも親しみこめた一声を。
(2)第三日曜日は「家庭の日」家族そろって意義ある一日を過ごす。

五、差別のない明るい町づくり

(1)同和問題に対する認識を深めるため進んで学習に参加します。

六、生活簡素化運動

(1)冠婚葬祭等の簡素化運動を実践します。

台風シーズンに備えて

台風の被害を最小限に食い止めるにはわたしたちの日ごろの心構えが最も大切です。

いざというときに備えて自分たちが住んでいる地域ではどんな災害が起こりやすいかを調べ、災害が発生した場合に備えて安全な避難場所と避難経路を確認しておきましょう。

▼停電したら真っ暗やみーこれでは、お手上げの状態です。懐中電灯、ロソク、トランジスタ・ラジオなどを用意しておきましょう。

▼避難するときの携行品を非常袋



台風の強さの分類

階級	中心気圧
弱い	990ミリバール以上
なみ	960～989
強い	930～959
非常に強い	900～929
猛烈な	900未満

に入れ、すぐ持ち出せるところに置いておきましょう。

非常袋には水にぬれても文字が消えない筆記用具などで家族の住所、氏名、生年月日、血液型、避難予定地などを記入しておきましょう。

▼お年寄り、子供、病人などのために、ふだんから安全な場所を確保しておきましょう。

台風が近づいたら

▼ラジオ、テレビの台風情報をよく聞いて対策をたてましょう。

▼家屋、塀などを補強し溝や下水の流れをよくしておきましょう。

▼まず、お年寄り、子供、病人を早めに避難させることです。

▼災害状況を軽くみないこと。デマに惑わされずに、消防、警察などの防災機関の広報に注意しましょう。

▼服装は行動しやすいものが何よりです。とくに頭にはヘルメットまたは厚手の帽子をかぶり、靴は底の丈夫なズック靴が最適。手袋も用意しましょう。

点描 (23)

お盆を迎えて

一、迎え火をたいて、お精霊様を迎え祖先のみたまを、家族そろっておまつりするお盆が近づきました。お精霊様も一年ぶりに我が家の仏壇におかえりになり、家族の皆さん方の達者な姿を見て、さぞかしお喜びのことと思います。

二、新盆の家
新盆を迎える家では、お精霊様が初めてのおかえりで、又新しいもろもろの情感がわき、心からのおまつりが行われます。家族、近親者、隣近所の方々が、お精霊様を心からお慰めすることは、極めて大切な盆行事です。

三、このお盆行事は、昔から日本に伝わる美しい行事です。

親睦と友情

セタゲートボール大会

第二回地域交流親善セタゲートボール大会が去る七月七日鈴峰園で開かれました。

これは、老人ホームの人達と地域の老人の方々との親睦と友情を深めると共に地域との交流を図り

うめん、めし等を供えたりして、精霊様をていねいにおまつりしたものです。こんな昔のしきたりは今は消えて無くなりましたが、只庭先でたき火することはつづけて行われていきます。

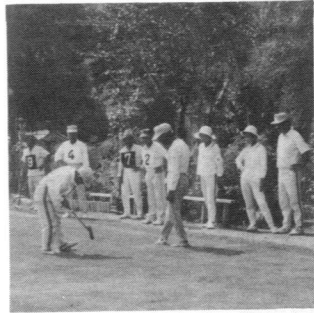
四、御香料

新盆の家へ御香料として、昔は線香二束、三束を包んだものとか、そうめんを適当に包装したものをよく使ったものです。それが時代の変遷と共に代り、燈ろうを贈るとか、焼酎を贈ること等になり、特に燈ろうが多くなった様です。従って金銭的に高価になったわけですが、最近では近親者だけでなく多くの人が贈る傾向となり、部屋せましとはかりに吊り下げられる風習となり、一考を要する声も出はじめました。

五、東郷町生活改善推進協議会の提唱

七年前から起った、簡素化運動新生活運動、生活改善運動等の提唱により、本町は総べての生活風習に改善の必要を認め、各種の行

老後の生きがい高めるために、昨年からは始められたものです。当日は、小野田・羽坂・鶴野内の老人クラブを招待し、午前九時に開会されました。男女八チームが参加し、熱戦を展開しました。



お盆は新盆家庭を中心に家族、近親者、隣近所の方々と、心からのおまつりをするのが大切ですが、物より心の時代です。生活風習の改善を国の行政改革と共に改めて明るい町づくりに努めましょう。東郷町生活改善推進協議会 会長 都甲 鶴男

事に種々の手だてを構じて町民に強く呼びかけています。

お盆行事については(1)燈ろうやその他の贈物は近親者だけにしましょう。

(2) 一般の方は燈ろうや品物は贈らないようにしましょう。

(3) 線香代として五〇〇円程度を贈りましょう。

(4) 新盆の家では、お茶程度の接待にしましょう。

最近はこの提唱に協力する町民の方が増えつつあります。昨年のアンケート調査で、指導的地位にある方が率先して実行して下さる様な声が出来てきています。御協力の程、お願いいたします。

お盆は新盆家庭を中心に家族、近親者、隣近所の方々と、心からのおまつりをするのが大切ですが、物より心の時代です。生活風習の改善を国の行政改革と共に改めて明るい町づくりに努めましょう。東郷町生活改善推進協議会 会長 都甲 鶴男

郵便局からお知らせ

農協

《信用事業のみ》

毎月第二土曜日

お休みです。

八月から、毎月第二土曜日について郵便局、農協等、全金融機関の信用事業(貯金の支払い、融資、為替等)のみ休業になります。郵便局では、窓口業務のみ休業になります。郵便・電報・電話については従来どおり取り扱います。

農協についても、共済・販売・販売・指導及び、Aコープ・給油所・葬具利用事業等は従来どおり行います。詳しいことについては、各郵便局 農協等にお尋ねください。 ※八月は十三日が休みです。

青年だより

みごと優勝!!

女子ソフトボールチーム

去る七月十七日北川町において東白杵郡青年団ソフトボール大会が開催されました。その中で男子は一回戦で南郷村に敗れましたが女子はあれよあれよというまに決勝戦へ進み門川町を八対二で退け九月十八日に宮崎市で行われる県大会へ出場することになりました。

駐在所だより

シートベルトの着用を!!

今年の県下における交通事故は昨年と比較すると激増の傾向にあります。ことに死去六十三名という増加は全国第二位です。東郷町内においても、七月十八日夕羽坂において単車と自転車がぶつかり、小学校二年生の児童が三カ月の重傷を負う事故が発生しています。

ちよつとした油断が、気のゆるみが思わぬ事故につながります。体への疲労からくる「いねむり運転」や「暴走行為」をなくし、車を運転する時には必ず、シートベルト、ヘルメットを着用するようにしたいものです。シートベルト着用は自らの交通安全宣言です。

※東郷町のワースト順位は三十二位と成績は良好ですが、交通安全女子ソフトボールチーム(監督) 本多 悌二

女子ソフトボールチーム

(監督)

黒木孝子、田代典子、黒木静子、平坂美香、中森富士子、伊東君代、伊東綾子、高山まゆみ、吉田美鈴、田代美紀、高瀬ひとみ、川越千津代

お礼

最近の青年団は会員の減少とともに活動資金の不足で思うように活動ができない状態となつています。そこで、未加入者への加入呼びかけを行うとともに、活動資金

少年の非行防止

日向警察管内における上半期の少年の補導状況は四五〇人と前年対比で一、七%、四十七人増加し特に中学生の非行が目立っています。

行方別では、深夜はいかがいが一七五人(約四割)と最も多く次に喫煙、不健全娯楽の順になってお

ります。夏休みは、特に子供たちが非行に走りやすい季節です。いろいろな誘惑に負けないよう親子で、心掛けたいものです。



を得るために、そうめんを販売しようという事になり、六月末から販売を始めました。一ヶ月余り販売予定の五百個をすべて販売することができ、会員一同大変感謝しています。少し高いという声も聞かれましたが、「おいしかったよ」という声も多く、よかったなああと考えているところです。これからも皆様方にはご迷惑をおかけすることが多いと思いが、青年団にかわらぬご指導、ご協力よろしくお願いします。

牧水と坪谷 (16)

塩月 儀市

やがて少しづつ文字を知るようになると、少年雑誌や姉たちの読み古したものを仮名を辿って読むようになって、今までは知らず、仲間を避けていたのだが、いつの間にか意識して他を避ける様になった。そうなるにつれて、ますますきたのは山であった。また溪であった。多くは独りで山に登り溪に降りて行ったが、稀に一人の友があった。それは私の母であった。

○村の行事(正月・お盆・祭礼)
牧水は村の行事のうち正月、お盆、祭礼を記していますが、正月は随筆「故郷の正月」でも記しています。それには新正月に牧水の家だけが門松をたて、餅をつき、元日には父と牧水が紋付を着て屠蘇を祝ったことを記していますが「思い出」には正月、お盆、祭礼を次のように記しています。

山村の少年にとつて一年中の楽しみはお正月であり、お盆であり、お祭りであった。正月には別に変ったことは無かった。唯百姓や柚人たちが業を休んで酒に酔っている位のものであ

たが、お盆の印象は余程深い。これらの行事はすべて陰暦で行うのだが、そのお盆が来るとなると先づできるだけきれいにお墓の掃除をして十三日の来るのを待つ。そしてその日の夕方から三日間、お墓と各自の家の門口に出来だけ盛んに焚火をするのである。たゞ地上に焚火ばかりで満足せず、青竹の大きいのを用意しておいて、その先に松明を結びつけ、そして中天に焰を上げるのを喜んだ。その火の高さ、大きさが各戸の間に自然と競争となって、いやが上り長い竹大な質のよい松明を選ぶことになっていたのである。村を囲んだ峰から峰へかけての空に白々と銀河が流れて、その下の溪まで立っている光景は幼い瞳にだけだけ鮮かに映ったものか、やがて夜が更けるにつれて一つ一つその火が消えて、ア、何処かが消えた、誰の所のも落ちた、と数えながら次第に疎らになってゆく火光を見守っている身には何とも知れぬ哀愁のしみじみと浸み込むのを覚えたものである。(つづく)

夏休みの非行を防ぐ



一、約束した時間を守らせよう

朝寝、夜ふかし、テレビを見る時間が長くなるなど、休みに入った安心感から子供は時間のケジメを忘れがちになります。また、夏休みは、遊びに行っても帰宅が遅れがちです。門限を決めて、キッチンと守らせるようにしましょう。

二、計画的な使い方

身につけさせよう

夏休みになると、子供は外へ遊びに行く機会が増え、お金を使うことも多くなります。無駄遣いの習慣が身につかないよう気を付けましょう。

三、夏休みならではの

目標を持たせよう

夏休みは、子供が時間や物事の計画性を養う絶好の機会です。前もって夏休み中の計画表を作

らせ、それをキッチンと実行させるようにしましょう。

四、「ノー」と言える強さを持たせよう

子供には、イヤなことや悪いことにハッキリ「ノー」と言える強さを持たせたいものです。悪いことを許し合ったり、いつでも行動を共にすることが本当の友達つきあいでないことを子供に教えましょう。

五、健康のありがたさを理解させよう

喫煙、飲酒、シンナー遊びなどは、青少年の健康な心身を確実にむしばみます。子供には、日ごろから健康の大切さを話して聞かせ、スポーツなどに興味を持たせたいものです。

牧水祭短歌募集

八月一日
八月三十日まで

牧水祭の一端として開催される短歌会の作品を募集しています。本町に居住する者、または町内の事業所に勤務していればどなたでも応募できます。応募についての詳しいことは、牧水顕彰会(教育委員会内)に尋ねるか、六月号町報に掲載しています。



衛生だより

- ◎母子健康相談 8月23日(火)
受付 9時半～10時半
場所 老人福祉館
対象 妊産婦 乳児(三ヶ月
六ヶ月、十二ヶ月)
内容 問診、身体測定、検尿
(妊婦のみ)保健指導
- ◎一才半健康診査 8月23日(火)
受付 13時～14時
場所 老人福祉館
対象 昭和56年12月1日～昭和57年2月28日生まで
内容 問診、身体測定、内科
・歯科診察、保健指導
- ◎母子健康相談、一才半健康診査とも母子手帳を忘れないように
- ◎一般健康相談 8月27日(土)
受付 9時半～10時
場所 老人福祉館
対象 町内全域の成人
内容 問診、血圧測定、検尿
(必要時)、保健指導
その他



町道敷を利用する場合の手続

町道敷内に左記のような施設をする場合は、工事に着手する前に町長に届出て承認を受けた後に工事に着手してください。
一、町道に接続して農道、作業道生活道を取りつけるとき。
二、水道管、排水管等を横断して取りつけるとき。
三、道路側溝に給排水用のパイプを引込むとき。
四、町道敷内に集材機等を取付け木材の搬出、又は町道を横断して架線を張るとき。
※詳しいことは建設課へお問合せください。

東郷町文化協会 設立案内

日頃、各分野における芸術文化活動に精進している町内在住の諸氏が相集い、お互いの親睦とみずから知識と情操を高めると共に

芸術文化の振興をはかり、地域の発展に寄与することを目的として東郷町文化協会を設立します。文化、華道、書道、絵画、蘭、菊、さつき、盆栽等に興味が有る本会の主旨に賛同される方は是非加入してください。
なお、設立総会は八月下旬を予定しています。
(申込み方法)
八月二十日までに直接又は電話で町教育委員会社会教育係に申込んでください。
(問合せ)

土地・家屋(現況)の変更は届け出を

固定資産税は、毎年一月一日を賦課期日として四月一日に税額を確定し、各納期毎に納付していただくことになっています。
土地、家屋とも、その賦課の基礎となるのが一月一日現在の現況によります。
したがって、一月二日以降現況に変更のあるものについては、届け出を早めにお願います。
詳しくは、役場税務課固定資産係までお尋ねください。
※用紙は税務課に用意してあります。

今月の納税
町県民税(2期)
水稲共済掛金

善意のともしび

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のために善意がよせられました。
厚くお礼申し上げます。

- ▼坪谷の矢野哲男さんから(和子さん・72歳ご死去)
- ▼坪谷の酒井太さんから(郁子さん・57歳ご死去)
- ▼越表の黒木美緒子さんから(ハナさん・86歳ご死去)

心配ごと相談

心配ごと相談を、左記日程により開催いたしますのでご遠慮なくご相談ください。(毎月第三火曜日開催)
開設日 8月16日
時間 午前10時～午後3時
場所 老人福祉館

まちのうごき

人口	6,493人 (△5)
男	3,102人 (△6)
女	3,391人 (△11)
世帯	1,775戸 (△2)
58年7月1日現在	
()は対前月比	

〴〵冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
岩田 繁	63	福谷
矢野 和子	72	坪谷
渡邊 シズエ	63	越表
黒木 ハナ	86	越表

結婚おめでとう

氏名	住所
新保 昭彦	寺迫
黒木 千草	寺迫
塩月 治孝	福瀬
河野 ひとみ	越表

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
矢野 千夏	広 続	坪谷
岩田 俊介	久 信	福瀬
戸澤 辰徳	三 敏	小野田
中谷 友美	郎	仲坂
寺田 淳一	徳 夫	羽深
橋口 美里	仲 深	坂深

戸籍だより
六月届出分